

【部門】食料の安定供給

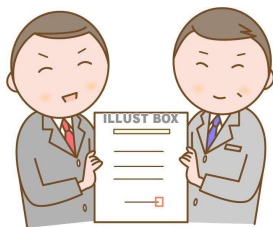
【表彰対象】 穀物等の民間備蓄、国産消費の拡大（原料の国産化転換、キャンペーン、理解醸成）、安定的な輸入等に係る取組を行うことにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【穀物等の民間備蓄①】

〈米穀卸売企業の例〉

- 大規模冷害等により、米穀の供給が日本全体で2割程度減少するような場合、米穀の在庫の仕向け先を、特にコメが足りていない地域へ仕向ける。
- 不測時の出荷・販売の調整を行う体制を整えるため、自治体との包括協定や他社との業務提携契約の締結を公表。



【穀物等の民間備蓄②】

〈アミューズメント施設運営企業の例〉

- 非常時に提供するための備蓄米を常備。
- 非常食として使用せず賞味期限を迎える備蓄米は、フードバンクや子ども食堂へ現物を寄付するほか、従業員食堂でアレンジメニューとして提供し、フードロス削減にも取り組む。
- 従業員食堂の売り上げの一部をWFP国連世界食糧計画に寄付。



【穀物等の民間備蓄③】

〈ソフトウェア開発企業の例〉

- 近隣の農業公社から米を年間300kg購入し、災害備蓄米として保管、災害時などに活用。
- 災害時の炊き出し等を使用しなかった場合、新規購入時にこども食堂ネットワークを通じて、こども食堂に寄付。



【部門】食料の安定供給

【表彰対象】 穀物等の民間備蓄、国産消費の拡大(原料の国産転換、キャンペーン、理解醸成)、安定的な輸入等に係る取組を行うことにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【国産消費(原料の国産化)の拡大】

〈外食チェーン企業の例〉

- ・ 「使用しているすべての野菜を国産化に」という目標を掲げる。
- ・ 1年をかけ全店で、野菜を100%国産化。
- ・ その後、麺に使う小麦を国産化、ぎょうざ主原料も全て国産へ切り替えた。



【国産消費の拡大のための消費者理解醸成】①

〈総合不動産デベロッパーの例①〉

- ・ 地方都市でシンポジウムを開催。
- ・ 作り手の想いや価値を、食べ手に届けるための「伝え手」の在り方を議論し、既存の食料バリューチェーンに留まらない可能性を見出すことをテーマとしたトークセッションを実施。



【国産消費の拡大のためのキャンペーン】

〈大手食品メーカーの例〉

- ・ 農林水産省「こども霞が関見学デー」にて、日本の食料事業を学ぶワークショップを実施。参加者より「産地を見るようになった」、「食料自給率を上げるため、国産を積極的に選びたい」等の理解醸成や行動変容がみられた。
- ・ 地方自治体、地域の小学校等と連携し「全校一斉カレーの日」に、同内容の出前授業を実施。今後同市中学校や他地域へ横展開を予定。



【国産消費の拡大のための消費者理解醸成】②

〈総合不動産デベロッパーの例②〉

- ・ 「食について考える」をテーマにしたイベントを、10日間にわたり開催。
- ・ サステナブル農業についてのシンポジウムをはじめ、コラボメニューの提供、イベントの参加団体の取り組みを紹介するエキシビション(展示)、親子で参加できるワークショップなどを期間中展開。



【部門】食料の安定供給

【表彰対象】 穀物等の民間備蓄、国産消費の拡大(原料の国産転換、キャンペーン・普及、理解醸成)、安定的な輸入等に係る取組を行うことにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【国産消費の拡大のための普及啓発】

〈学校給食のごはん食化、和食化に取り組む一般社団法人の例〉

- ・ 「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、2014年3月に日本料理の若手旗手8名が「和食給食応援団」を結成、農林水産省が認定した。
- ・ 未来を担う児童に、伝統的食文化である“和食”を中心とした食生活や、その味覚を継承してもらうため、和食給食を推進し、普及、定着を図るため、和食の有名料理人が全国6つの推進モデル校へ来校し実際の給食の調理監督を行った。
- ・ 現在では、全国各地に約100人の和食料理人が参加、講演会や食育授業参加者数は1万人を超えるまでに拡大している。



【国産消費の拡大のための消費者理解醸成】①

〈国産小麦に関わる職人団体のNPO法人の例①〉

- ・ 持続可能なクラフトフードに、“地域”(ローカル)という切り口から、気候変動や耕作放棄地、農業人口の減少や地域経済などへの関心を高めるために取り組む。
- ・ 日本全国で収穫される“新麦”を味わえる秋に開催され、会員の新麦のパン、麺、菓子が一堂に会するフェスティバルを毎年全国各地で開催。



【部門】食料の安定供給

【表彰対象】 穀物等の民間備蓄、国産消費の拡大(原料の国産転換、キャンペーン、理解醸成)、安定的な輸入等に
係る取組を行うことにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【国産消費の拡大のための消費者理解醸成】②

〈おにぎりの国内外への普及を目的とする一般社団法人の例〉

- 日本の地域や企業が、「おにぎり」とその食材の普及のため、地域や食材の魅力をPRし、地域課題を解決するための産官学民連携の取組として、サミットを2024年より開催。



【安定的な輸入】

〈穀物取扱量で国内トップクラスの企業の例〉

- 農業の生産性向上、農産物の購入先の多様化や信頼性の高い調達ルートの構築に取り組む(海外への投資等)ことで、食料需給を効率的に結び付け、世界中から食料を調達し、安定的に供給。



【部門】食品アクセスの確保

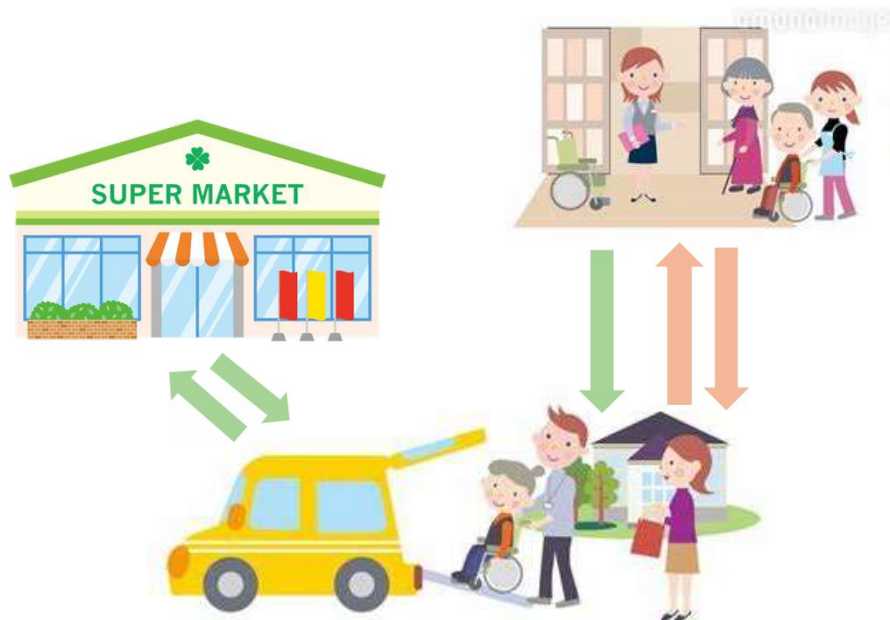
【表彰対象】 物理的アクセラや経済的アクセスの確保等に係る取組を行うことにより、食品アクセスの確保に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【物理的アクセス】

〈介護サービス企業の例〉

- 自治体と連携し、施設と施設利用者の自宅間を運行している送迎車両を活用。
- デイサービス施設の利用者が、非通所日に買い物等の外出をする際に、送迎車両の経路を変更して自宅まで迎えに行き、スーパーまで送迎を行うサービスを提供。
- これにより、利用者は、家族送迎・付き添いなしで一人でも安心して外出・買い物ができる。



【経済的アクセス(フードバンクへの寄付等)】

〈食品企業の例〉

- フードバンク活動を行うNPO法人と提携し、自社製造の冷凍食品を経済的に困窮している者に無償で提供。
- 系列物流会社と協力し、低温輸送でNPO法人が支援する養護施設などに、直接食品を届ける仕組みを構築。



【部門】持続的食料システムの確立

【表彰対象】 持続的食料システムの確立(合理的価格形成、人権・環境配慮調達・栄養改善)に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【合理的価格の形成】

〈協同組合の例〉

- 生産費が考慮された価格形成の実現に向け、農業生産資材の価格高騰の影響を数値で示すため、野菜等を対象とし、県の統計を基に、生産費の上昇額を算出した試算表を作成。
- 卸売会社向けに説明会を開催し、当該試算表をバイヤー等との価格交渉の場で活用することを要請。
- これらの取組により、取引価格の値上げに応じる取引先も見られた。



野菜		いちも・徳島・高松・香川県	愛媛県	福岡県	佐賀県	熊本県	鹿児島県	沖縄県
キャベツ	1kg	¥120	¥130	¥140	¥150	¥160	¥170	¥180
トマト	1kg	¥110	¥120	¥130	¥140	¥150	¥160	¥170
ピーマン	1kg	¥100	¥110	¥120	¥130	¥140	¥150	¥160
ナス	1kg	¥90	¥100	¥110	¥120	¥130	¥140	¥150
ズッキーニ	1kg	¥80	¥90	¥100	¥110	¥120	¥130	¥140
パプリカ	1kg	¥70	¥80	¥90	¥100	¥110	¥120	¥130
ピーマン	1kg	¥60	¥70	¥80	¥90	¥100	¥110	¥120
ナス	1kg	¥50	¥60	¥70	¥80	¥90	¥100	¥110
ズッキーニ	1kg	¥40	¥50	¥60	¥70	¥80	¥90	¥100
パプリカ	1kg	¥30	¥40	¥50	¥60	¥70	¥80	¥90



【人権・環境配慮調達】

〈コーヒーを取り扱う食品メーカーの例〉

- 調達に関する姿勢を明文化した調達原則と行動規範を制定。
- コーヒー豆の調達については、基本的な人権の尊重、強制労働・児童労働の禁止、適切な労働条件の遵守、生物多様性と生態系の保全、水資源の保全等の配慮がなされているもののみを対象とする。
- 実効性の確保のため、専門知識を持つ社員が自ら現地へ向かい、定期的な実態調査を行う。



【部門】持続的食料システムの確立

【表彰対象】 持続的食料システムの確立(合理的価格形成、人権・環境配慮調達・栄養改善)に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【環境配慮調達】

〈菓子メーカーの例〉

- 商品の主原料であるカカオの持続可能な生産・調達に向けた取り組みを啓発する活動を計画し、『サステナブル宣言』を実施、環境省へ報告。
- 『サステナブル宣言』の概要は以下の通り。
 - 商品パッケージに「カカオ・サポート」について明記
 - 体験イベントの開催
 - ノベルティグッズを制作
- 2024年に『ネイチャーポジティブ宣言』を制定。
 - サーキュラーエコノミー
 - カーボンニュートラル
 - 生態系の保全・再生



【栄養】

〈栄養バランスのとれたレシピ提供の例〉

- 複数の食品企業が連携し、栄養に配慮したレシピや栄養バランスを考慮した組み合わせ(献立)に関する情報を提供することで、栄養バランスのよい食生活を推進。

〈減塩に取り組む例〉

- おいしさを損なわない減塩技術を用いて、おいしさと減塩を実現した商品を開発。



【部門】農業技術の活用・開発

【表彰対象】 農業技術の活用・開発に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【農業者・産地等によるスマート農業技術に適した新たな生産方式導入の取組等①】

〈農園の例〉

- ・ スマート農業技術である収量コンバインやデータ連携玄米選別機を導入。
- ・ データ解析の結果、品種構成を増やし、品種毎に作期をずらすことで、新たな機械の導入なしに適期に収穫することが可能となり、20%超の単収向上を達成。



【農業者・産地等によるスマート農業技術に適した新たな生産方式導入の取組等②】

〈農研機構の例〉

- ・ 食味に優れ、栽培の省力化やスマート農機の導入による作業効率化を促進可能なコンパクトな樹姿(カラムナー性)のリンゴ新品種「紅つるぎ」を育成。



分枝型の樹



カラムナー性
(円筒型)の樹



紅つるぎ